

あぶないみず あんぜん しょりすい あんぜん うみ ながすほうほう 危ない水を安全にしよう！～処理水を安全に海に流す方法～

☆実験してみよう！

1. まずはペットボトルでろか装置をつくろう！

必ず使う材料：入れ物のペットボトル、小石、ガーゼ、脱脂綿

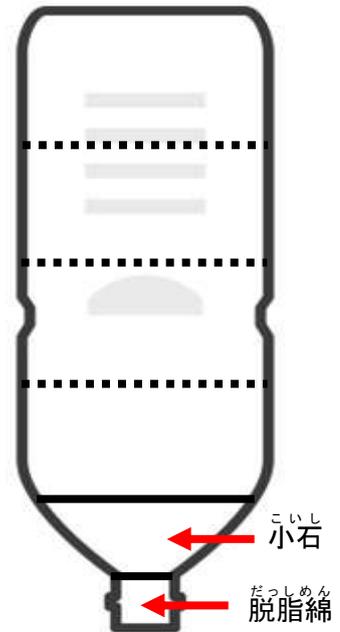
自由に選べる材料：砂利、砂、炭

2. どんなふうに材料を入れたら水がきれいになるか、予想してみよう！

自由に選べる材料から1つ～3つ選んでね。選んだ数だけ点線をな

ぞって、図の中に材料を書きいれよう！

・考えた装置にどろ水を流すとどうなるかな？



3. 実際につくってみよう！

・考えた順番に、材料をいれていこう。1つ材料をいれたら、ガーゼをしいてたいらになるように押すことが大切！

4. 完成したらろか装置に、どろ水を流してみよう！

・出てきた水と、入れる前の水とくらべてみよう。色や濃さは変わったかな？

☆どろ水がきれいになったのはなぜ？

ろか装置につめた材料には、どんな役割があるかな？



- ・砂や砂利、ガーゼは、水の中の()を取りのぞくため。
- ・炭は、()や()を取りのぞくため。

⇒ひとつひとつの材料がちがう役割をもっている！

必要な材料がそろそろほど、よごれが取りのぞかれて水がきれいになりやすい！

☆どろ水をもっときれいにする方法！

・どろ水に、重曹とミョウバンをいれてかきまぜると…？観察してみよう！

水は(透明になる ・ 白くなる ・ 茶色のまま)

・水の中の粒がしずむことを、『沈殿(ちんでん)』といいます！

☆処理水を海に流すために

海に流す処理水も、砂つぶやごみがまざっているどろ水のように、はじめは放射線をだすとても小さなつぶがたくさんはいつている水でした。



そんな水を海に流すには、海の生き物、その生き物を食べる動物や私たちにとって安全でなければいけません。そのためがあるのが、どろ水から汚れを取りのぞくろか装置のように、放射線を出すつぶを取りのぞいて安全にする施設です。

施設では、ろか装置の材料のように、それぞれのつぶにあったいろいろな方法をつかって、()種類もの放射線をだすつぶを取りのぞいています。さいごに観察した『沈殿』も、その方法の1つです。

それでも取りだせないつぶは、絵の具をうすくするように、安全になるまできれいな水をたしてうすくして、安全にしていきます。そうして安全になった水が、海に流される処理水です。

☆今日のおさらい

正しかったら○、まちがっていたら×をかつこの中に書こう！

1. 放射線は危険なものである。⇒()
2. 放射線は、私たちの生活にまったく役立たない。⇒()
3. 水のなかの放射線をだすつぶを取りだす方法がある。⇒()
4. 海に流される処理水は、放射線をだすつぶがたくさんはいつている。⇒()